

平成30年度 横浜市世界を目指す若者応援事業

(個人留学による帰国報告)

●氏名

YNさん

●留学先

国/都市：米国/テキサス州 Abilene

外国の高校：Abilene High School

●留学期間

2018年9月12日～2019年6月26日

●留学先での活動、留学で学んだこと

約9か月間の留学生活は最初はとても大変でした。

言語の面でも現地の生活にも慣れるのにはとても時間がかかりました。日本での生活がどんなに楽で恵まれていたのかということを実に思い知らされました。この一年で一番学んだことは、あたりまえのことがどんなに大切であったかということです。特に親への感謝です。日々、親が自分のことを気にかけてくれて、学校や勉強のサポートなど、自分がどんなに愛され、応援されていることに気づきました。また、親だけでなく、友達や学校の先生方などの自分への理解に本当に感謝しています。

留学中は、できることは何でもやるという精神で過ごしました。学校ではテニス、バスケ、陸上のスポーツをやり、第三言語であるスペイン語も学びました。また一度も触ったことのないギターのクラスにも入り、新しいことに挑戦しました。

教会では、ユースグループに入り、キリスト教のことについて学んだり、地域でゴミ拾いをしたり、大学生へのクッキー作りをしました。また、クリスマスにはイエス・キリスト誕生の劇に参加し天使役を演じました。また近くの小学校や高校で日本文化のプレゼンテーションをし、日本文化を発信しました。

日本を出て、別の観点から日本を見ることは勉強になりました。外国人からの日本のイメージを知ることは面白く、日本について自分も学びました。日本にいと、分らなかった文化の違い、日本の良さ、一方で日本の良くない所も学びました。

この留学体験は自分にとって新しいことばかりで、とても刺激を受けました。

残りの高校生活は海外模擬国連など新しいことに挑戦していきたいです。

他国に友達を持つ楽しさを知り、大学ではもう一度留学をしたいと思っています。

一年間支援ありがとうございました。